

岩田屋三越 美術画廊 インフォメーション

■福岡三越 9階 = 岩田屋三越美術画廊
※催物最終日は午後5時閉場

IWATAYA
MITSUKOSHI
ART GALLERY
INFORMATION

2019
4月



4/3[水]~8[月]

彩刻磁 石橋 裕史展

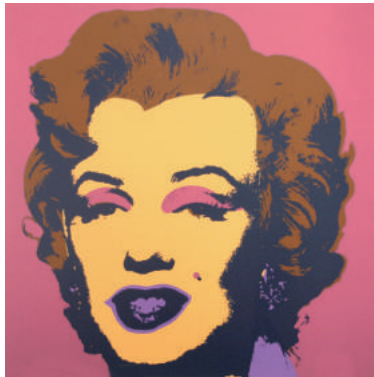
「彩刻磁」という焼き上がった器の表面の釉薬をサンドブラストで段階的に削り、釉の厚みの差により模様を浮き立たせる独自の技法で美術工芸の分野に新たな革新を起こし、数々の賞を受賞されました。本展では、新しい磁器の表現者アーティスト石橋氏が描く精緻にして優美なグラデーションの数々を一堂に展示いたします。



『彩刻磁香炉』

～アンディ・ウォーホルから草間彌生まで～ コンテンポラリーアートの世界展

1960年初頭のニューヨークを起点に大衆芸術旋風を巻き起こしたポップアート。大衆消費社会のイメージである雑誌、広告、商品、コミックなどをテーマとした作品が次々と生み出され、瞬間に世界へ波及しました。本展では、この当時のN.Y.の熱気を感じさせるアーティスト達の版画作品を一堂に展示いたします。



アンディ・ウォーホル『マリリン・モンロー #11.27』
(サンデーBモーニング版)

4/10[水]~15[月]

添田 和信 作陶展

福津市在住。長年にわたり、日本工芸会会員として活躍され、特徴のある刷毛目模様と鉄彩を基調として日々新たな作品に挑戦されています。本展では、花器、壺、普段使いの食器等を展示販売いたします。



『刷毛目鉄彩篇文壺』

中司満夫 油彩画展 ～フランスの美しい村を旅して～

5月から6月にかけてバリ周辺の美しい村に滞在し、ロワール川沿いの古城を巡り、緑多い田園風景や水辺の風景等を描いた作品を展示いたします。



『古城静映』

4/17[水]~22[月]

佐藤 亮 色絵磁器展

九谷の白と五彩に魅せられて、北陸をモチーフに色絵の器を造り続ける佐藤氏。本展では、四月、晴明から穀物の節気へ。「春光一風の色」がテーマとした作品を展示いたします。



色絵深鉢『波光』

高橋浩規 日本画展 ～花の色 光の形～

〈久原本家 茅乃舎〉の季節のかけ紙などで知られる日本画家高橋氏。軽やかなタッチで描かれた花鳥風月の美しさはもちろん、巧みな光の表現や優れたデザイン感覚の作品を一堂に取り揃え展示販売いたします。



『薄紅色の花』

4/24[水]~29[月・祝]

江上 晋 陶展 ～象嵌への思い～

熊本県八代市で400年の歴史をもつ高田焼。その地に生まれ、象嵌の技法を用いた新たな表現を追求し続け活躍の場を広めている江上晋氏。3年ぶりの本展では、象嵌への思いと題し、青磁を基調とした白、黒の象嵌紋様等を展示販売いたします。



『青磁象嵌花入』

洋画&ガレ・ドーム展

アール・ヌーヴォーの代表的な工芸作家ガレ・ドームの花瓶やランプ、また近現代の巨匠、大家に至るまで油彩画を中心に30余点展示販売いたします。



和田 直樹『果実と妖精』



ガレ『貝と風景文栓付瓶』

※催事名や催事日時等は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。※印刷の都合上、実物と多少 色が異なる場合がございます。

IWATAYA
岩田屋 福岡・天神



MITSUKOSHI
福岡